

大樹

みなさま
お変わりなく
お元気ですか

第12号

平成27年12月吉日
発行

香川県立保健医療大学同窓会翠丘会

すいきゅうかい

〒761-0123 香川県高松市牟礼町原 281 番地 1
TEL (087) 870-1212 (代)



同窓会新会長挨拶

香川県立保健医療大学同窓会 会長
松原 文子 (高松市健康福祉部 長寿福祉部 部長)

皆様はじめまして。このたび、香川県立保健医療大学同窓会翠丘会の会長に就任いたしました、松原文子と申します。どうぞ宜しくお願いいたします。

私は、昭和52年に香川県看護専門学校臨床看護学科を卒業し、翌53年に公衆衛生看護助産学科を卒業いたしました。同年、高松市役所に入庁し、行政保健師として地域住民の健康支援、とりわけ、母子保健では、児童虐待や育児不安のある母親への育児支援として、カウンセリング相談等の立ち上げや子育て自主グループの育成に努めました。その後、地域包括支援センター長を経て、平成25年度からは、長寿福祉部長として、高齢者福祉全般と、介護保険事業を所管しております。

さて、現在、我が国では、人口減少、少子・超高齢社会の本格的な到来を迎えております。地縁、血縁などの関係性の希薄化や、独居・高齢者のみの世帯の増加、65歳以上の高齢者が4人に1人となるなど、私たちを取り巻く環境は大きく変化しており、いわば、時代の大きな転換期に直面しているといえます。

このような中、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすための仕組みである地域包括ケアシステムの構築が急務であり、行政ではその構築に向け、各種施策に、鋭意、取り組んでいるところです。しかしながら、地域包括ケアの実現は、行政だけでなく、関係団体・民間・地域の方々等と連携して実現していく必要があります。また、この地域包括ケアシステムは、高齢者のみを対象とするのではなく、子どもや子育て世代、心身に障がいのある人など、すべての人が安心して暮らすことのできる共生型のまちづ

くりでありますことから、しっかりと進めていかなければならないと思っております。

一方で、社会保障制度の現状は、一層厳しい中で、今まで以上に自助・互助・共助・公助、とりわけ、お互い様の地域で支え合う互助としてのまちづくりが望まれています。

そこで、私たち保健医療の専門職による、専門的知識やスキルを生かしての地域社会への貢献が求められていると感じております。

保健師の多くは、行政保健師となり、地域に向向くことが仕事となりますので、このような地域住民を主体とした地域づくりの必要性は日々実感していることと思っております。また、看護師・助産師・臨床検査技師・学生・教務の方は、医療現場に従事したり、研究活動を行うなど、直接的に地域貢献を行うことは難しいかもしれませんが、世の中の動きを常に察知し、入院患者への情報提供を行う他、退院時の支援を行ったりと間接的に関与することができると思っております。

さらに、すでに退職された方々は、地域の自治会やボランティア等、様々な活動をされていることと思っております。このように、立場は違っても、同じ保健医療分野の専門職として、人々の生活や健康支援のために、共々に地域貢献をして参りましょう。

最後になりますが、香川県立保健医療大学及び大学同窓会翠丘会の今後ますますの御発展と、教務の皆様方、会員並びに現役学生、その他関係の皆様方の御健勝と御多幸を祈念いたしまして、就任の挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくご祈願いたします。



看護への思い

香川県立丸亀病院
石川 朱美

Akemi Ishikawa

早いもので、振り返ってみると看護師になって35年余りが経過しました。私が看護師をめざしたきっかけは、看護師として働いている母の姿でした。幼い頃は母が働いていた病院によく遊びに行っていたので、母の姿が「白衣の天使」に映っていたのだと思います。

看護学校は現在の保健医療大学の前身である、香川県看護専門学校でした。看護学生時代で一番印象に残っているのは実習です。厳しい実習指導者がいる病棟での実習前日は、胃が痛くなるし眠れませんでした。

保健師助産師看護師法には二大看護業務として、療養上の世話と診療の補助が掲げられています。診療の補助業務は看護師の主要な業務として、医師の行う医療業務を支えてきました。医師の指示のもとに処置を行うときに、確かな技術や豊富な知識は必要なことです。また療養上の世話については、ナイチンゲールやヘンダーソンは、環境を整えたり、その人がその人らしく生活できるために日常生活行動を援助することが、その人が持つ自然治癒力を促進したり、病状の改善につながると言っています。

医療の高度化・複雑化や看護師の役割拡大等に伴い、看護業務における診療面での業務の比重は高くなってきています。しかし、療養上の世話には、人間が人間をケアすることの意味と価値といった、看護実践の根底があると思います。後輩の皆様には、看護の本質を見失わないように、患者様の気持ちに寄り添える看護職として、成長していただきたいと思います。



単身赴任の思い出

臨床検査専門学校 2期生
穴戸 誠

Makoto shishido

国立病院機構を定年退職して、早3年が経とうとしています。思えば、退職前9年間単身赴任をしていました。単身赴任の間、毎週月曜日の朝AM5:30に家を出て、赴任先の病院にAM7:00ごろ到着して、荷物を官舎において朝のコーヒーを飲んで病院に出勤していました。そして、金曜日の仕事が終わると官舎に帰って荷物を用意してPM7:30ごろ家に帰っていました。この生活を9年間続けてきました。最初は単身が苦痛でしたが、すぐに慣れてきました。単身赴任は悪いところもあれば、良いところもあります。

悪いところは、炊事・洗濯・掃除と家事一般が困ります。良いところは、遊びに行ったり飲みに行ったりして遅くなくても誰も怒る人がいないので、安心して遊びに

行ける場所です。単身赴任生活が長くなると食生活の乱れで体重が増えてメタボ体形になって来てしまいました。そこで一念発起してウォーキングを始めることにしました。最初は朝30分ほどだけ歩いていましたが、だんだん面白くなり朝早く起きて1時間半ぐらい歩くようになり、夜も1時間ほど歩くようになり、するとだんだん体重のほうも落ちていくようになりました。1年ほど続けると5キロほど体重が減りました。過去の転勤で一緒に仕事をした人がその病院に仕事をしていて、全然初対面の人ばかりじゃなく顔見知りの方がいると安心します。同郷のひとが私を入れて4人いたので、この4人とよく遊びに行っていました。ゴルフに行ったり、町に飲みに行ったり、毎週のように私の官舎で、食材を買ってきて食事を4人でしたものです。退職した今もそれぞれの道を歩んでいますが、ときどき連絡合せて飲みに行ったりしています。単身赴任も悪くはないなと思っています。国立病院機構の病院は転勤が多いといわれていますが、若いうちは転勤も悪くはないと思います。転勤したそれぞれの病院のシステムや人間関係に特徴があり大変と思うが経験を積んでいくことはよいことだと思います。

中庭交流スペース開設へのご支援のお礼



この度、香川県立保健医療大学翠丘会のご支援をいただき本学図書館に中庭交流スペースを開設することができました。木々に囲まれたちょっとしたカフェのような交流スペースで学生サポートのためのオープンな空間を造ることができました。



最近の大学図書館では、学生が自ら学ぶ学習の重要性が再認識され、その支援を行うことが求められています。中庭交流スペースの「場」の開設により、図書館において学生が学生同士や教職員と思いきりおしゃべりしながら知的交流を図ることが可能となりました。

このように学生の学習環境の整備にご支援いただいた翠丘会に心より感謝申し上げます。

香川県立保健医療大学図書館長 高嶋 伸子



オープンキャンパスでの図書館ガイダンス風景。二人とも意欲的に説明し大活躍でした。



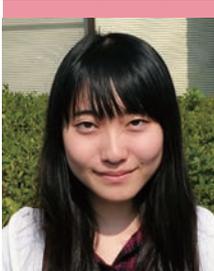
多くの人を笑顔にできる看護師になるために

看護学科 1年
岡本 ゆい

Yui Okamoto

私は、病気の祖父を支えたいと思う気持ちから、人を支え、助けられることができる仕事につきたいと思っていました。人を支える仕事は他にもたくさんありますが、そのなかでも看護師を選んだのは、病気で心が暗くなっている人を笑顔にできることや、ケアするだけでなく、生きる力を引き出すことのできる素晴らしい職業だからです。そして、地元である香川県の地域医療にかかわる看護師としてのスキルを身につけ、自分の夢を叶えるために香川県立保健医療大学を選びました。入学した時は、友達ができるだろうか、勉強についていけるだろうか等の不

安がありました。しかし、授業でのグループワークや宿泊学習で、多くの人と話し、一緒に活動ができる機会があり、すぐに多くの人と友達になることができました。勉強面では、はじめは慣れない90分間の授業でしたが、難しい内容であっても細かい説明や図をつかって理解しやすく、グループワークではグループの人たちと話し合うことで、今では90分も苦痛ではなくなりました。また、先生は優しく質問に答えてくださり、勉強も友人と助け合って乗り越えることができました。お互いに高め合え、助け合い、支え合える仲間と親切で明るい先輩方、熱心に指導して下さる先生方に囲まれて充実した大学生活を送っています。これから4年間、さらに勉強が難しくなったり、実習がはじまったりと大変なことも多くなりますが、たくさんの知識と経験、技術を身につけ、立派な看護師になれるよう、日々努力していきます。



臨床検査技師を目指して

臨床検査学科 1学年
瀬道 衣莉子

Eriko Sedo

私は、幼い頃から医療関係の職業に就きたいと思っていました。そして、ある時、エコー検査を受けた際に出会った臨床検査技師さんの、優しく話しかけてくれるながら機器を操作する姿に憧れを抱き、臨床検査技師を目指してきました。

入学当初は、入学できた喜びやこれから大学生活が始まるという嬉しさよりも、友達はできるだろうか、地元から遠く離れたこの土地で生活していけるのだろうか、勉強にはついていけるだろうかという不安の方が多かったです。しかし、この不安もすぐに無くなりました。21人と

いう少人数かつ、みんな同じ臨床検査技師を目指しているということで、友達はすぐにできました。そして、勉強面では教科書の分厚さや専門的な内容に焦ることもありましたが、自分のやりたい内容であったことと、分からない点を先生に質問に行った際には優しく丁寧に教えていただけたことで、頑張ることができています。今までの定期テストとは比べものにならない程広範囲であった、初めての試験も無事に終えることができました。

また、この大学生活四年間に勉強はもちろんのことですが、自身の視野を広くするため、ボランティア活動にも積極的に参加したいと考えています。

これから先、授業はより専門的な内容になり、実習なども始まってきます。立派な臨床検査技師になるため、同じ目標を持った仲間たちと切磋琢磨しながら、先生方にも助言をいただきつつ、日々勉学に励みたいと思います。

国際交流

平成27年6月29日から7月10日までの約2週間、カナダの南アルバータ工科大学から臨床検査学科の教員1名、学生4名が来学し、本学の講義・実習を共に受講し、国際学術交流を行いました。また学年ごとに、学生独自の歓迎イベント（日本食、折り紙等）も企画し、異文化交流も楽しみました。県内施設の訪問もさせて頂き、施設の方々にも大変お世話になりました。有難うございました。さらに9月には、看護学科の学生2名と教養部の教員が南アルバータ工科大学へ交流派遣をしました。翠丘会の皆様、「国際的視野をもって保健・医療・福祉に関する問題を考え、判断し、活動できる人材の育成」の実現に向け、今後共、どうぞよろしくお願い致します。



平成26年度収支決算

平成27年度予算

収入の部			
	26年度決算額	26年度予算額	内訳
会費収入	2,056,000	1,920,000	新入会員1年生84名、卒業生2名
寄付	0	0	
雑収入	789	500	利子等
繰入金	2,592,534	2,592,534	
同窓会懇親会参加費	0	0	
その他	7,000	0	翠丘会名簿購入2名
合計	4,656,323	4,513,034	
支出の部			
	26年度決算額	26年度予算額	内訳
会議費	121,672	100,000	
(1) 総会	0	0	
講演費	0	0	
警備費	0	0	
電気代	0	0	
懇親会	0	0	
印刷費	0	0	
雑費	0	0	
(2) 役員会	121,672	100,000	役員・評議員会 3回(臨時役員・評議員会含む)
旅費	37,000	40,000	
軽食代	84,672	60,000	延べ40名
事業費	1,191,045	1,150,000	
(1) 会報誌発刊	291,045	250,000	翠丘会誌発送代を含む
(2) 同窓会名簿作成	900,000	900,000	
事務費	111,265	340,000	
(1) 通信費	3,536	300,000	監査報告書依頼、現金書留、記念品郵送
(2) 消耗品	87,485	20,000	82円切手155枚交換手数料、翠丘会封筒1000部
(3) 印刷費	0	0	
(4) パソコン関連費	0	0	
(5) 雑費	20,244	20,000	入会受付学生アルバイト、香川前会長告別式花輪など
入学式	4,000	7,000	
(1) 祝い金	0	0	
(2) 旅費	4,000	7,000	
卒業式	259,412	307,000	
(1) 祝い金	0	0	
(2) 旅費	1,000	7,000	
(3) 記念品・花束	258,412	300,000	記念品222,124円、花束36,288円
大学支援金	1,358,722	1,500,000	(大学支援金内訳) オープンキャンパス: 122,208円 大学祭支援金: 50,000円 翠丘会の大学祭参加費: 184,365円 大学寄贈図書: 997,149円 退官教員花束(1名): 5,000円 (その他) 翠丘会退会者2名返金
その他	40,000	0	
支出小計	3,086,116	3,404,000	
次年度繰越金	1,570,207	1,109,034	
支出合計	4,656,323	4,513,034	
積立金			
ゆうちょ銀行		6,000,000	
百十四銀行		4,000,000	

収入の部			
	27年度予算額	26年度決算額	内訳
会費収入	1,920,000	2,056,000	新入会員80名
寄付	0	0	
雑収入	500	789	利子等
繰入金	1,570,207	2,592,534	
同窓会懇親会参加費	120,000	0	
その他	0	7,000	
合計	3,610,707	4,656,323	
支出の部			
	27年度予算額	26年度決算額	内訳
会議費	450,000	121,672	
(1) 総会	350,000	0	
講演費	100,000	0	
警備費	5,000	0	
電気代	20,000	0	
懇親会	200,000	0	
印刷費	5,000	0	
雑費	20,000	0	
(2) 役員会	100,000	121,672	役員・評議員会 2回
旅費	40,000	37,000	
軽食代	60,000	84,672	延べ40名
事業費	300,000	1,191,045	
(1) 会報誌発刊	300,000	291,045	
(2) 同窓会名簿作成	0	900,000	
事務費	340,000	111,265	
(1) 通信費	300,000	3,536	総会案内発送代を含む
(2) 消耗品	20,000	87,485	
(3) 印刷費	0	0	
(4) パソコン関連費	0	0	
(5) 雑費	20,000	20,244	
入学式	7,000	4,000	
(1) 祝い金	0	0	
(2) 旅費	7,000	4,000	
卒業式	307,000	259,412	
(1) 祝い金	0	0	
(2) 旅費	7,000	1,000	
(3) 記念品・花束	300,000	258,412	
大学支援金	400,000	1,358,722	(大学支援金内訳)
その他		40,000	オープンキャンパス: 150,000円 大学祭支援金: 50,000円 翠丘会の大学祭参加費: 200,000円
支出小計	1,804,000	3,086,116	
次年度繰越金	1,806,707	1,570,207	
支出合計	3,610,707	4,656,323	
積立金			
ゆうちょ銀行		6,000,000	
百十四銀行		4,000,000	

平成27年度事業計画

香川県立保健医療大学同窓会
事業計画

1. 組織に関する事項

- 1) 会員増加対策
…短大卒業生・大学在学生の未加入者への働きかけ、大学院生の加入の検討など
- 2) 役員・評議員会…年2回の開催
- 3) 総会・懇親会

2. 同窓会情報に関する事項

- 1) 会報誌「大樹」12号発刊…年1回
- 2) 香川県立保健医療大学ホームページにおける同窓会コーナーの充実

3. 在学生に関する事項

- 1) 大学教育への支援
…オープンキャンパス、大学祭、図書館環境、国際交流など
- 2) 卒業・修了式
…卒業・修了生への花束贈呈、学生会員の卒業・修了生への記念品贈呈

香川県立保健医療大学
同窓会通常会員入会状況

(平成27年5月22日現在)

歴代学校名	人数(人)
香川県衛生検査技師養成所	143
香川県臨床検査専門学校	344
香川県看護専門学校臨床看護学科	1,169
香川県看護専門学校公衆衛生看護助産学科	447
計	2,103
香川県立医療短期大学臨床検査学科	69
香川県立医療短期大学看護学科	67
香川県立医療短期大学専攻科	31
計	167
香川県立保健医療大学臨床検査学科(～第8期生)	113
香川県立保健医療大学看護学科(～第8期生)	422
香川県立保健医療大学助産学専攻科(～第3期生)	2
計	537
臨床検査学科在学生(うち平成27年度新入会員)	19
看護学科在学生(うち平成27年度新入会員)	60
助産学専攻科(うち平成27年度新入会員)	2
大学院(うち平成27年度新入会員)	0
計	81
合計	2,888

香川県立保健医療大学
同窓会役員名簿

(平成27年11月30日現在)

役職名	氏名	回生	区域
会長	松原 文子	看専16	高松
副会長	池田 繁信	臨専5	高松
副会長	藤井加芳子	看専14	高松
副会長	内海 知子	看専21	教員
幹事(会計)	徳原 康哲	臨床検査学科教員	教員
幹事(会計)	植村 裕子	看専34	教員
幹事	真鍋 紀子	臨床検査学科教員	教員
幹事	伏見 彩香	大学10看護3	学生
監事	宮川 朱美	臨専9	中讃
監事	矢木 春郁	大学4	高松
評議員	渡邊 由香	看専23	中讃
評議員	吉本 和子	臨専9	高松
評議員	堀井 和世	短大検査2	高松
評議員	小島 千明	大学2	教員
評議員	石川 朱美	看専19	西讃
評議員	穴戸 誠	臨専2	中讃
評議員	佐藤真千子	看専21	東讃
評議員	土居 歩美	大学9看護4	学生
評議員	三宅 真由	大学9検査4	学生

国家試験合格状況・進路状況

平成26年度も看護師、保健師、助産師、臨床検査技師の国家試験において、全国平均より高い合格率を維持しています。また、看護学科、臨床検査学科、助産学専攻科において、半数以上の学生が県内の主要な医療機関や施設に就職しました。

種別	看護師	保健師	助産師	臨床検査技師
平成26年度	受検者数 69人	69人	10人	21人
	合格者数 68人	69人	10人	21人
	合格率 98.6%	100.0%	100.0%	100.0%
	新卒者の全国平均 95.5%	99.6%	99.9%	93.8%

住所変更は、小野高速印刷(株)までご連絡下さい!!

TEL 0120-73-7288 FAX 0120-81-2299
E-mail:meibo@dousou.info